

# 県広報コンクールで

## 「広報かのや」12月号が

### 特選を受賞

平成17年度鹿児島県広報コンクールで、合併前の旧鹿屋市で発行していた広報紙「広報かのや」の12月号が、最高賞となる特選を受賞しました。

また、広報紙作成の功労者として、旧吾平町の広報紙「広報あいら」で文化財を分かりやすく紹介した松山三郎さんと、旧串良町の広報紙「広報くしら」に、4コマ漫画を寄稿した大吉千明さんが広報功労者表彰を受け、7月18日、鹿児島市で表彰式が行われました。

#### 広報功労者 表彰



松山三郎さん(90歳)  
吾平町麓

旧吾平町の広報紙「広報あいら」で6年9か月にわたり「吾平町名所散歩」というタイトルで、吾平町内の文化財を分かりやすく紹介しました。

吾平山上陵があるなど、吾平の歴史は誇り高く、紹介したい歴史もたくさんあります。おかげで、執筆作業はとても楽しく、頭の体操にもなりました。

「吾平の歴史を多くの人に伝えること」は、私の生き甲斐。現在も約180年ほど前に写本された『始良名勝志』の間違いを正す作業に熱中しています。

#### 広報功労者 表彰



大吉千明さん(70歳)  
串良町細山田

旧串良町の広報紙「広報くしら」に、25年2か月にわたり社会風刺的な題材をユーモアを交えて表現した4コマ漫画を寄稿しました。

毎月、『ユーモアのある身近な話題』を探すのに苦労しましたが、案さえまとまれば、得意の漫画を書くのは1時間程度でした。4コマで物語を表現するのはたいへん難しい作業ですが、逆にそれが4コマ漫画の魅力。締め切りに追われたこともありましたが、書き終わった時の格別な達成感を味わいながら書き続けました。



受賞した12月号は、旧鹿屋市発行の最終号となった広報紙です。内容は、64年間に及ぶ市の歴史や在日米軍空中給油機の移駐問題を特集として扱ったもので、総評では、「広報紙で扱うにはややかたいともいえる鹿屋基地への米軍空中給油機移駐問題を特集で思い切って扱い、その経緯や政府の説明内容、市の対応などを詳細に記している。新聞で伝えられる問題だが、その情報をかみ砕くための基本が盛り込まれていた。また、旧市の歴史を綴った特集も比較的よく整理され、各家庭保存版ともいえる内容になっている」と評価されました。